

# 「清水勇人市長と語る」タウンミーティング【西区】

## 〈開催概要〉

日 時：令和3年10月30日（土） 14：00～15：30

会 場：馬宮コミュニティセンター 3階 第2・3・4集会室

参加者：14名（傍聴者0名）

市出席者：市長、都市経営戦略部

事務局：市長公室広聴課

開催テーマ：将来を見据え、さいたま市のまちづくりや市役所移転について考えよう

### 参加者との意見交換

#### ●参加者

##### 〈発言1〉

今日は、市長の新庁舎の整備について有意義なお話を聞かせていただきました。

1点だけ申し上げますと、話が総花的になっていて、夢のような、あれもいい、これもいいといった、それは結構なのですが、基本的には財政の問題ですよね。今の市役所が45年前に建てられたのですよね。要するに、高度経済成長時代で税収が増えましたから、各市町村は施設をたくさん建て、それから40年、50年たちました。どこの市町村も老朽化して建て替えに困っているという状況の中で、また、さいたま市の人口は増えていますが少子高齢化が進む中で、今後の財源問題をどのように考えていますか。もう一つは、今の庁舎を使っていて6億円が削減できるというお話がありましたが、分母、何に対して6億円が縮減されるのかというところですね。その2点質問します。

##### 〈発言2〉

新庁舎の移転のお話について、何となく前からうっすら知ってはいたのですが、具体的にいろいろ予算とかまで決めているというのは、今回初めて知りました。

私は、大宮で生まれて今も大宮に住んでいますが、小さい頃のイメージとして、大宮駅が物すごく発展して、大きな商業施設が建って、あのときは、わあ、すごいなというイメージがあったのですが、それから、いろいろ世の中、景気が悪くなってしまったというのもあり、なかなかそこから発展しないなというのが正直あります。

大宮高校のある地域は、以前はコクーンシティもなかったのですが、今はさいたま新都心駅もできましたし、コクーンシティもできましたので、とても栄えてきました。私のイメージでは、大宮駅から新都心の間がもっと栄えてほしいと思っていて、新宿と原宿のように、歩いてお店を見ているうちに、知らないうちに隣の駅に着いてしまうような、そういうまちづくりをしていただきたいなと思っています。先ほどの話では、新庁舎が20階建てということですが、果たして私がそこに今後何回行くことがあるのかと思ってしまいます。今現状、西区役所でほぼ用事が済んでしまいますので、できれば、皆さんが気軽に足を運べるような新庁舎にしていいただきたいなと思っています。

##### 〈発言3〉

新庁舎についてお話しします。市役所にお子様連れで来た方のため、子どもを一時的に預ける託児所みたいなところがあればよいと思います。

また、車やオートバイで来た方のために、駐車場の確保をしてほしいです。

それと、憩いの場所として、レクリエーションで落ち着ける部屋がほしいです。市民の方にもお茶やコーヒーを飲める場所があるとよいというのは前から思っていたのですが、そういった憩いの場所がほしいです。

あとは、高齢者の方に対して安全な施設を要望します。けがや事故のないような施設にしてほしいです。

それから、身体障害者の方に対して柔軟な対応ができる施設にしてほしいです。不安が起きないように心配りが必要だと思います。

あとは防災について、地震が多い国なので、地震に十分耐えられる耐震性の高い建物にしてほしいです。

ですから、浦和にある数年前にできた「あいぱれっと」というような、ああいっただ施設がよいと思います。

#### < 発言 4 >

市役所のイメージなのですが、先ほどおっしゃられた方とも重複してしまうと思うのですが、一般市民生活においては、市役所というところに伺う機会がほぼないです。区役所をもう少し充実させてほしいというのが一つイメージです。本庁舎は、申し訳ないのですが、一般市民生活において、ほとんど利用していないと思います。

それと、新庁舎の整備についてなのですが、市長がおっしゃったように民間を多少入れるとのことですが、もう少しその民間の度合いを増やして、財政に振り分けるとか、そのような方向性はできないものでしょうか。また、大宮区役所があれだけの場所に新築されましたが、逆にこの新庁舎の中に大宮区役所を移転させて、大宮区役所をもう少し民間活用できないでしょうか。そうすると、かなり財政的に落ち着くのではないかというのが私の感想です。

あと現庁舎についてなのですが、ここも民間をもう少し入れて、財政軽減を図ることはできないでしょうか。文化だとかスポーツだとかもよいのですが、財源がなければ何もやっていけないと思うので、もう少し考慮していただけるとよいと思います。

#### < 発言 5 >

コロナ禍で、私の会社もそうですが、在宅勤務が多くなって、本社なんかも売却をして、オフィスの面積というのはどんどん小さくなっているという会社もある中で、果たして13年後に、市役所の業務にはどれぐらいのスペースが必要なのでしょう。20階建ては多分必要ないのだろうなと思います。デジタル化してDXしていくことで、市役所の職員の方の在宅勤務もどんどん促進してほしいと思います。

また、新しい市役所の位置は駅前だと思いますが、駅からすごく近い土地に、それだけの建物を持っていくことが本当に正しいのかというところは少し疑問に感じます。逆にさいたま市は駅から遠い学校が多いと思います。埼玉大学も遠いと思います。駅の近くに教育施設があると、学びたい人には便利なんじゃないかと思います。市民大学みたいなものをつくって見たらどうかと思います。

#### < 発言 6 >

市役所の位置なのですが、場所がすごくよすぎると思います。というのも、近いところ、駅から便利なところって、商業施設とか、どうしようか迷うような人が近くだから行こうかという感じの施設があることが、都市の全体の構造としては正しいのかなと思っています。

一方、市役所は、行こうとすればどんなところにあってもみんな行きます。そういう意

味では少し場所がよすぎるのかなと思います。あと今回、市役所の移転先として多分3つ検討していて、食肉中央卸売市場エリアも多分検討されていると思います。あの場所は、少し駅から離れていると思いますが、みんなそこに向かって来る。あそこは大宮駅からも来られると思っていて、新幹線で来た人も降りた後歩いて来られるような、そんな場所です。先ほどもお話があったと思うのですが、大宮駅と新都心の間、都市を一体化させようとしている中、分断されているところが現状としてあると思っていて、その問題についても市役所や市民との交流施設をあのエリアにつくることによって解消されると思いますし、あの位置はそういう形としても役に立つのかなとも思っています。

新都心の前に市役所ができると、食肉市場エリアにはマンションとかが建ちそうな位置で、少しもったいない気がします。バスターミナルの位置でいたい決まっていることはよく承知はしているんですが、そういう視点で考えると、食肉市場の跡地とかにあえて市役所を考えて、多分土地の値段も少しお安いのかなというところもありますし、そういう考えもあるのかなというのは、今回、資料等を拝見して思いました。

#### <発言7>

私、浦和区に住んでおりまして、先ほど市長さんが、新庁舎が新都心に来るというところで、6億円削減されるとおっしゃいましたが、結局、浦和区役所だけは残って、市役所だけが移転するとなると、最終的には補修の費用が発生すると思うんですね。例えばあの建物はかなり大きいので、1階の区民課だけ、我々なんかほとんど区民課だけしか使っていない状況なのですが、それがあある建物自体を残すということは、修繕費用とかが発生するので、状況としては同じじゃないかなと思います。そういったものを残すというよりも、我々みたいな住民サービスというか、区民課の方に何うということであれば、駅前の市民の窓口の方が多く使っているので、そういったところを増やしたほうがよいんじゃないかなというところを感じています。

#### <発言8>

どのような市役所にしたいかというお話ですが、まず8つの基本理念についてはすばらしい案だと思っています。

その中の5番目にあるSDGs、簡単に想定できるのは紙の削減だと思いますが、それと3番目のDX、そういったものは、時代の流れというのもありますので、今後、さいたま市の方でも進めていただきたいと考えています。しかし例えば私の父親、母親などは、全くついてこられていない状態で、私も実家に帰るたびに、パソコン教室の先生みたいなことをやらされています。さいたま市としてはDXなどの時代の流れについていけているのかもしれませんが、それについていけない市民の方というのもどうしても出てくるのではないかと考えています。そういった対策というのでも検討いただきながら進めていただければと思っています。

#### <発言9>

現庁舎の利活用についてなのですが、災害による帰宅困難者への対応が可能なスペースを設けることがよいかなと思います。

先日、地震でダイヤに乱れが生じてしまって、電車がストップするということが起きてしまったので、このようなことが今後起きるといことが考えられると思うので、そこに対応するために、帰宅困難者の対応が可能なスペースが一番よいのではないかと思いました。

また、このようなスペースは、昼間などは、先ほど意見で出ていた託児所などに使うことが一番有効活用できるのではないかなと思います。

#### <発言10>

仕事上でも、行政の方に問い合わせることが多く、これは区役所管轄なのか、それから市役所管轄なのかというのがいまいちわかりづらいところもありまして、問い合わせてはみるのですが、これは市役所に聞いてください、これは区役所に聞いてくださいと回されてしまうことが大変多いです。市役所移転とは少し離れてしまうかもしれませんが、市役所の管轄、区役所の管轄というのをわかりやすく示していただけたらと思っています。

### <発言11>

私からは、新庁舎の市役所についてなのですが、小学生、中学生までは川越にいまして、そこではジュニアリーダーとあって、地域の子どもたちを集めてレクリエーションみたいなものをして、地域に関する知識や市役所に対する仕事の内容などを知ってもらうような活動をしていました。高校生になってさいたま市に来たのですが、さいたま市に住んでいる友達に話しても、そういうことを知らない、もしくは本当はないのかもしれないということがわかりまして、それは少しもったいないなと思いました。私の先輩では、そういったものをきっかけにして実際に市役所で仕事をしている人もいるので、そういう活動を通して若い人たちに市役所に興味を持ってもらう必要があるなと思いました。

## ◆市長

### >>発言1

財政の問題について御指摘がありました。

まず、10年後の庁舎移転により6億円の削減ができるという、その金額の内訳ですが、建築後60年、つまり今の計画より5年長く使おうとすると、修繕費が約2億円多くかかります。それから、維持管理費が大体年間6,000万円から7,000万円増えるということになりますので、その分が合わせて約6億円ということですよ。

それから、新庁舎を建てるための財源については、現在、庁舎の整備に必要な経費の財源に充てるため、さいたま市庁舎整備基金を設置しているので、それを活用し、残りは市債を発行するという形になるだろうと考えています。

さいたま市は今、市債残高でいうと、政令指定都市で2番目に少ない状況ではありませんが、今後、高齢化時代や人口減少社会が目の前にあります。10年後に人口減少が始まる、また超高齢社会が始まるということが推定されていますので、私たちも持続可能な財政状況、あるいはまちづくりということが不可欠であろうと思っています。そういったことを踏まえながら、この庁舎整備についても対応していきたいと考えています。

### >>発言2

大宮から新都心の間が、まちづくりとして、もう少しつながりがあったほうがよいのではないかと、市民が気軽に足を運べる新庁舎になってほしいとのお話がありました。

今、さいたま市としても、先ほども少し御説明しましたように2都心という考え方、2都心、4副都心の多角ネットワーク型の都市をつくるというのが都市計画の考え方のベースにあります。

2都心というのは、1つの都心が浦和駅周辺、それからもう1つの都心が大宮駅とさいたま新都心周辺で、この2つを都心と位置づけています。その中で大宮駅とさいたま新都心というのが一つの都心という見方をしていますので、特に大宮駅からさいたま新都心駅の間というつながりということについては、大変重要であると考えております。その中で一昨年オープンしました大宮区役所と図書館の複合型施設は、まさに地域をつなげていく中間的な場所の役割を果たしていて、大宮駅とさいたま新都心をつなげていこうという考え方を持って、今進めさせていただいています。

また、今、その裏手側にあります氷川参道については、日本一の参道ということもあって、一部乗用車が走る場所もあるのですが、歩行者専用道路化という形で進めながら、歩いて楽しめるような場所にしていきたいと考えてまちづくりを進めています。大宮駅の東

口のまちづくりの話になりますが、公共施設を再編しながら、古いものを合築したり、統廃合しながら土地を生み出して、そしてそこに民間の活力を利用して、魅力的なまちづくりをしていこうという方針で今進めさせていただいているところです。

大宮駅については、今、東口を含めて大宮グランドセントラルステーション化構想という取組も進めています。これは鉄道事業者も含めて、地権者、事業者の皆さんにも参画をしていただきながら進めています。先ほども言いましたように、10年後に人口減少が始まると推定をされています。その中でさいたま市は、おかげさまで、今、毎年1万人ぐらい人口が増えている状況下にあります。0歳から14歳の転入超過でいうと、6年連続全国第1位という大変ありがたい状況が続いていますが、それでもおおむね10年後ぐらいから人口減少が始まってくるということが推定されています。しかし、その人口減少が始まったときにも、できるだけ持続可能なまちにしていかなければなりませんので、そのための投資を、この10年の間にしっかりやっておく必要があります。恐らく10年後、何もしないでいくと、福祉や教育やいろいろなことを削るしかなくなってしまうので、引き続き市民の皆さんにさいたま市を選んでいただいたり、企業に進出をしていただきやすい環境をつくっていくことによって、右肩上がりには難しくても、ある程度の歳入を確保しながら、まちづくりを進めていきたいと考えています。

その中で、新庁舎を2つの都心のうちの一つの都心の中に位置づけ、浦和駅周辺と大宮駅周辺をできるだけ一体的な取組の中で発展をさせていこうと、そしてそれぞれの特徴を生かしたまちづくりをしていこうというのが今回の考え方のベースにあるということです。

### >> 発言3

託児所の機能を備えてほしい、あるいは駐車場の確保ということであったり、また憩いの場、高齢者への配慮、また障害者への配慮などがしっかり整った施設にしてほしいといった御要望をいただきました。

### >> 発言4

市役所のイメージとしては、市役所そのものは、一般市民が生活していく上では、なかなか直接行くような場所ではないということもあって、区役所の方を充実してほしいという御意見をいただきました。

本庁舎と区役所の役割ということと言うと、スケールメリットを生かしてやったほうがよい役割については、基本的には本庁舎が担います。一方で、きめ細やかなサービスをしていくという分野については区役所が担っています。先ほどもお話ありましたが、高齢者の方々や、障害者の方々も含めて、より丁寧にやっていく必要があります。また、デジタル化で、市役所や区役所に来なくてもだんだんよくなってくると思いますが、一方で、なかなかデジタル化になじんでいくということが難しい世代の皆さんもいらっしゃいますので、そういった方々への対応というのは区役所でというイメージで考えているところです。

新庁舎については、先ほどもお話ありましたが、企業も本社機能、建物を縮小化していますが、私たちもそれは十分認識をしている中で、デジタル化を含めた社会変化に対応できるような施設にしていかなければならないと考えています。

他の自治体の庁舎でも、商業施設が入ったり、オフィスが入ったりするところもありますし、豊島区役所ではマンションが上にある施設になりました。マンションというのは、その後のことを考えると難しさもあると思いますが、そういったものなども複合化させながら、できるだけ行政の負担、税での負担を少しでも減らせる取組を工夫してやっていきたい、こんなふうに考えているところです。

そういう意味では、区役所を本庁舎と併せてはどうかというような御意見も頂戴しましたが、私たちとしては、民間の施設なども入れて、初期投資をできるだけ減らしていきたいと考えています。

## >>発言5

働き方が大きく変わってくるのではないかと、という御意見をいただきました。私たちもそう思います。

ただ、もう一方で、市役所というのは、行政の中で最も市民の皆さんに近い場所にある立場でもあります。今回のコロナ禍で、市の業務についても積極的に在宅でのワークを増やすように進めてきたのですが、なかなか難しさもありました。とはいっても、リモートワークであったり、在宅勤務などの割合はこれからもっと増やしていきたいと思えます。それによって働き続けられる職員も出てくると思えますし、市民の皆さんにとってもよい環境が出てくるだろうと思っています。そういう意味では、今後の整備に当たり、御指摘のとおりスペース等については、変化が起こってくる可能性は十分あるだろうということは認識をした上で、柔軟に対応できるような環境にしていきたいと考えています。

また、駅から近過ぎて少しもったいないのではないかと、そういった御意見もいただきました。もちろん駅から近いのもったいないという考え方も当然ありますし、ただ、近いので、逆に言うと、民間施設も一緒に入れて整備をすることによって、財源を少し縮減ができるという状況もあります。

先ほど言った移転先の候補となった3つの土地、場所というのは、既にさいたま市の保有地であるところを中心に選んでいます。その中で私たちも、できるだけ車での御来場も減らしたいということもありますし、そういった視点で最終的に駅から近い新都心の場所を選ばせていただいたということです。

また、近くに国の庁舎などもありますので、災害時の対応についても重要な役割があります。さいたま市の場合、首都圏広域地方計画という国の計画の中で、首都直下地震が起こった際の首都機能のバックアップ拠点という位置づけをいただいています。もし霞が関がかなり厳しい状態になったときには、さいたま新都心の一部がその代わりを担う可能性が高くあります。そういった意味からも、新都心エリアというのは、災害なども意識した場所ということになりますので、そういったところとも連携しながら進めていきたいと思えます。災害時への対応については各区役所も役割を担っていますが、かなり人口が増えてきて、また行政ニーズが非常に細くなってきているものですから、今、各区役所はほとんど余地がないぐらいいっぱい状況の中で仕事をしています。そういう中で、災害時のいろいろな役割も、新庁舎で持つことができるのではないかと私たちとしては考えているところです。

## >>発言6

新庁舎の場所が駅から近くてよすぎるのではないかとというお話でしたが、そういう御意見も当然あると思います。私たちとしては、先ほど言いましたように、できるだけ環境に優しい、SDGsというものを意識した建物、シンボリックな施設にしていく必要があると思っていますので、来庁の際に駅から比較的近い場所であることにより、車以外の手段を利用しやすくなったり、民間の施設と複合化させるという視点で考えると、駅に近いほうがより価値としては高いだろうということなども踏まえて、最終的に新都心の駅近くの方を選んだということになります。

食肉中央卸売市場の跡地についても、今後、行政としてどうしていくのか考えていきますし、民間の力を借りることもなども含めて、まちづくりを考えていく必要が出てくると思っています。その中で、大宮駅と新都心駅とのつながりということについては、私たちも氷川参道だけではなくて、線路周辺エリアの流れも十分意識した形で考えていかなければならないと思います。

## >>発言7

まず、現庁舎跡地の維持管理についてですが、浦和区役所を残すといたっても、今の庁舎

に残すという意味ではありません。建築後60年までしか現庁舎は使えないというのが基本的な考え方ですので、浦和区役所含め本庁舎は壊すということになると思います。その上で、機能として消防署と区役所を残すということになります。現庁舎地には幾つか新しくつくった建物もありますので、そういったところに集約をしていくというようなやり方もできるかと思えますし、その中で、それ以外の空間をどう活用するかということが現庁舎地の利活用ということで検討しているということで御理解いただければありがたいと思います。

既に今の本庁舎もスペースが足りなくなってしまう状況があり、ほかの施設を借りて事務をやっている部署もあります。今後デジタル化により省スペース化ができたり、働き手を少なくできるのではないかと私たちも考えていますし、それに取り組んでいきたいと考えていますが、もう一方で、行政のニーズ、行政がやらなければならない仕事の種類が年々増えてきているのも、また事実です。そこにいかにデジタルを活用しながら、市民の皆さんの様々な課題を解決できるような形にできるかどうか、日々考えながらやっているところです。ただ、いずれにしても、働き手がある程度変化し、デジタル化によってスペースや職員数も抑えていけるのではないかと私たちも考えていますし、そうなるようにしていきたいとも思っています。

デジタル化については、別途、デジタル八策というものをつくりまして、今、そういったデジタル化への取組も進めております。令和7年度までにほとんどの行政手続きがオンラインでできるようにしていくつもりですが、当然、高齢者の方などを含めて、全ての方がそれを活用できるという状況にはすぐにはなりませんので、そういった人材育成であるとか、きめ細やかな対応なども含めて併せてやっていきたいと思えます。

#### >> 発言 8

D Xなどの時代の流れについていくのが難しい方への対策も考えてほしいとのお話がありました。今お話し申し上げましたが、デジタル化への高齢者の配慮については、特に今回の新型コロナで、現場の私たちも痛感しました。ワクチンの予約を取るのも、大変御苦労をおかけする結果となりました。途中から区役所、公民館、図書館などで予約を代行したり、あるいはサポートしたりというような体制を組ませていただきました。3回目接種もその体制で続けるつもりでいますが、すぐにデジタル化に対応ができない、そういった市民の皆さんもかなり多くいらっしゃるのも、また事実ですので、そういったことに十分配慮しながら、デジタル化も進めていきたいと思っています。

#### >> 発言 9

現庁舎地について、災害時の帰宅困難者の対応などに活用し、昼間は託児所などに活用することができるのではないかと御意見を頂戴しました。新庁舎も、また現庁舎地の活用についても、災害ということについては大変重要な視点だと私たちは思っています。これまでさいたま市は比較的台風などの自然災害の被害は少なく済むエリアでしたが、一昨年、台風19号が来て、西区の皆さんも御存知だと思いますが、荒川があと一步のところまで溢水してくるというような状況になりました。これから恐らく雨量、気候が大きく変動する中で、そういったことも十分把握しておかなければならないし、また大きな地震についても高い確率で起きると予想されていますので、そういったことへの対応も十分考えていきたいと思えます。

#### >> 発言 10

行政に対する問合せがどこの部署なのかがわからず、たらい回しになったりするケースがあるとの御指摘をいただきました。

課ごとに表示はしてありますが、どこの課へ行けば自分の聞きたいことが聞けるのか、用事が済むのかがわかりにくいということは、私たちも感じる場所がありますので、で

きるだけそれをわかりやすく表示をする必要があります。区役所や本庁舎には案内をする方を配置していますので、もしわからないケースの場合には、是非聞いていただければ、どちらの場所ですよということをお伝えするようにしていますし、また表示の仕方、検索の仕方についても、もう少しわかりやすくしていきたいと思います。特に新庁舎については、それがきっちり対応できるような施設にしていきたいと思います。

また、特に福祉については、一つの御家庭で複数のいろいろな制度にまたがるような支援をしていく必要がある方々が増えていますので、包括的に部局横断的にサポートができるような体制をつくろうということで、今、4つの区役所でそれを試験的に導入しています。お困りごとがあったら、そちらの方に来ていただいて実情をお話ししていただくと、使える制度や対応方法なども併せて相談に乗らせていただいて、それぞれの合う制度で御支援ができるよう、段階的に進めている状況です。今後順次広げていき、もう1、2年で10区全てに配置をしていく予定です。

## >> 発言 1 1

川越に住んでいた頃の地域活動のお話をいただきました。子どもたちに地域のことや、市役所で行われていることなどを伝えていき、そのことが将来市役所の職員になることにつながったり、地域のことを理解することにつながっているというお話でした。

さいたま市がどんな市なのか、どんなことを目指しているのか、どんなよさがあるのかということも、なかなか今のよう状況で言うと、伝えきれていないところがたくさんあると思っています。ですので、新庁舎ではそういったことも併せてお知らせできたり、あるいは知っていただけるような場所にも是非していきたいなと考えています。

## ●参加者

### < 発言 1 2 >

新庁舎の整備に関して、DXですとか、あと最新技術の活用といったところで意見があります。

さいたま市長からもお話しされましたが、こういった技術は柔軟に活用をしていただきたいです。というのも、こういった新庁舎の移転のようなものは、プランが始まってから実際に実行するまで5年、10年かかると思うのですが、プランを立てたときに最新の技術だったり、すごくよい技術だと思っても、実際使うときには、もう時代遅れみたいなことがよくあるかなと思います。今、がちがちに最初からつくってしまうのではなくて、状況が変わったら柔軟に変えられるような、プラットフォームの部分ですとか、そういったところを柔軟に変えられるようなシステムを考えていただきたいなとお話を聞いていました。

### < 発言 1 3 >

現庁舎地利活用について、この資料にも載っているように人口が増加して、子育てにもよいまちだと言われているので、跡地にオープンスペースみたいな感じのものをつくって、のびのびと子どもたちが活動できるようにすれば、もっと子育てしたいなという人が増えると思いました。

### < 発言 1 4 >

私は中学生なので、市役所を利用する機会がほぼなくて、正直、今の市役所は、どういうところであって、どういうことをしているのかよく知らないし、どんなときに市役所を利用したらいいのかわかりません。また、行政以外の面で、どんな機能があって、どんなサービスがあるのかもよくわからないので、だからこそ、新しい庁舎ができたときは、もっと私たちみたいな学生とか、もっと小さな子たちも行きやすいというか、こういうことをしているところですよと言えるようなものがあったらよいかと思います。



小さい子たちとか、私たちみたいな中学生とかでも、例えば図書館とか気軽に通えるような施設があったら、その施設に来るついでに広告だったりとかを見て、今度、こういうものがあるんだとか知るような機会ももっと増えるんじゃないかと思いました。

### <発言15>

市長が移転は10年後を目安と言っていますが、市長は10年目まで、最後まで見届けるおつもりがありますか。トップが替わっちゃうと、また計画が途中で変わっちゃうようなことがよく起こるのですが、その辺はいかがお考えですか。

### <発言16>

現庁舎の利活用という考え方のところになるのですが、カフェと一体となった公園、それ自体は私も賛成なのですが、西区だからかもしれないのですが、私たちはほぼ移動が車です。最近、私も在宅勤務になったので、よく地域を散歩することはありますが、ファミリーで出かけると思ったら、ほぼ車です。カフェと一体となった公園って一体誰に向けてなのでしょう。浦和の市役所へ行ったことがあるのですが、すごい町なかでした。あそこは車で行けるところではないですし、駅からも少し離れています。なので、カフェと一体となった公園とかを例えばあそこにつくると聞いても、地元の人だけなのかなと思います。それだったら、これは西区の要望ですが、私たちも歩いて行けるところにこういったものを是非点々とつくっていただいて、現庁舎のところには、車で行かなくて済むような美術館だとか、ミュージカルをやるような劇場だとか、もしくは先ほども言ったとおり大学、高校などの学校施設にさせていただき、カフェと一体となった公園は、是非そういった郊外につくっていただきたいなと思います。

## ◆市長

### >>発言12

計画のときに最新鋭でも、始まる頃にはそうではなくなってしまうというのは本当によるあるケースだと思います。特にデジタル化のスピード感というのはすごく早いと思いますので、今、5Gなんて言っていますが、もう6G、もしかしたら、10年たつと7Gになっているかもしれません。そういったことなども含めて、私たちとしては、変化に対応しやすい施設にしていきたいなと思います。

今後、デジタル化の技術の進歩というのは、想像がつかないぐらいスピード感があるのだろうと思っています。そういったことに柔軟に対応できる施設にしていきたいと思いますし、メンテナンスなども含めて考えていきたいと思います。

### >>発言13

現庁舎地の利活用について、オープンスペースがあり、のびのびと子どもたちが楽しめるようなスペースにしてほしいという御意見を頂戴しました。なかなかそういった子どもたちがのびのびとできるスペースが見当たらないという、そんな思いから出てきた言葉かなという感じもします。しっかり私も検討していきたいと思います。

### >>発言14

中学生なので、利用したこともないし、どんな仕事をしているのかもわからないが、そういった若い人たちや子どもたちも来やすく、何をしているのかがわかるような場所になってほしいとのお話でした。本当にそういう視点はすごく大切だと思います。

先ほどほかの方からも、地域のことがわかったり、中の仕事がわかったりというような御意見をいただきましたが、私たちが気をつけなければならないのは、市民の皆さんから遊離してしまうような施設であってはならないことだと思っています。

市民サービスのほとんどは区役所で行うという状況の中で、市役所というものをどう市

民の皆さんに愛される場所にしていくかということは、重要な視点だと思います。

### >>発言15

10年後までしっかり責任を持ってやってくれるのですかというお話だと思いますが、現時点では、申し訳ありませんが、10年後、完成するころまで市長としているかどうかというのは、なかなか何とも言えない難しいことかなと思っています。ただ、いずれにしても、しっかりと、行政は継続性が原則であると思っていますので、誰が市長になってもつながっていけるように準備し、市民の皆さんにしっかりと御理解をいただいでいくということが大切だと思っています。いずれにしても、少なくとも今私ができることは、この4年間しっかりと市民の皆さんに御説明をして御理解をしていただいで、次につないでいくということだと思っています。

### >>発言16

カフェと一体となった公園については、もっと身近な場所に欲しいとの御意見を頂戴しました。

公園については、今、市の都市局が中心になってPark-PFIの検討もしていて、カフェなどがあるともっと楽しめるような公園をピックアップし、皆さんの身近なところでそういう場所をつくっていきたいと考え、順次検討を進めているところです。もう少しお待ちいただくと、近くにできるかはわかりませんが、例えばカフェが入った公園も出てくるかもしれません。民間の力を活用しながら魅力的な公園をつくるということも、私たちの大きなテーマの一つです。

現庁舎跡地については、広域的に市民が楽しめる場所という意味だと思いますが、劇場であったり、ミュージカルなどが観られる場所であったり、学校、大学を誘致したらどうかというお話をいただきました。市民の皆さんが十分に活用できるような場所に私たちも是非していきたいと思っていますし、その中で文教都市という、文教の地域としてのシンボリックな場所にもしていく必要があると思っています。

十分に皆さんの御意見や御質問にお答えができていないところもあるかもしれません。しかしながら、皆さんからたくさん御意見を頂戴しました。本当にありがとうございました。

今回の庁舎の話では、市民の皆さんからすると、ないほうがよいのではないかと、あってもなくてもどちらでもよいのではないかと、あるいは小さくてもよいのではないかと御意見が当然多いのではないかと思います。しかし、これから災害を始めいろいろな問題について考えたときに、ある程度しっかりしたものをつくっていく必要があると思います。華美なもの、豪華なものをつくるつもりは全くありませんが、ただ、しっかり10区の区役所をバックアップし、全市的な取組がしっかりできるような施設、また市民の皆さんから愛される施設にしていかなければならないと思っています。

今日いただきました皆さんからの様々な御意見には、大切な視点がたくさんあったと思います。私たちもそういったことを踏まえながら、しっかり取り組んでいきたいと思ひます。

さいたま市は今年でちょうど誕生して20周年を迎えました。20歳、人間でいえば大人になったということだと思います。この20歳になったさいたま市が、より一体となってさいたま市としての誇り、シビックプライドを持って、暮らしやすい、住みやすいまちにできるように、私たちも引き続き取り組んでいきたいと思ひます。

今日は長時間にわたりまして皆さんに御参加をいただきましたこと、心から感謝と御礼を申し上げます。私たちも引き続き皆さんの御意見を踏まえて、しっかり取り組んでいきたいと思ひます。

なお、冒頭でも申し上げましたが、今ちょうどパブリック・コメントも行っています。今日もし、意見が十分に言えなかったという方がいらっしゃれば、パブリック・コメントという形でも受け付けていますので、是非御意見を頂戴できればと思います。

今日は、中学生の方から幅広い年齢層の皆さんにお越しをいただきました。心から感謝と御礼を申し上げて、私のまとめの御挨拶に代えさせていただきます。今日はどうもありがとうございました。

#### ■ 補足説明

「0歳から14歳の転入超過」について

出典と時点については、以下のとおりです。

「住民基本台帳人口移動報告（2020年結果）」（総務省）

（市長公室 シティセールス推進課）